

(款) 10総務費 (項) 5総務管理費 (目) 15財政会計管理費

◎会計管理の経費

会計事務

【 会計課 】

【総合計画上の位置づけ】

計画の前提

行財政運営: 地方分権社会に対応した持続可能な行財政基盤の確立と効果的な都市経営をめざします

【事業の目的】

対象 市職員等

意図 収入支出の執行手続きを円滑に進めるため。

効果 審査・出納事務を適正かつ効果的に執行する。

【事業の内容】

(1) 会計事務

- ・ 現金及び収入証紙の保管・出納を行うとともに、指定金融機関の公金収納・支払いについて、指導、連絡、検査を行った。
- ・ 支出命令書等の審査、決算書及び付属資料の調製、例月現金出納検査及び所得税の徴収等に係る事務を行った。

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,413	10,584	9,941		643

主な支出内訳

・ 会計事務

函書等消耗品費	547
口座振替申込書等印刷製本費	914
口座振替手数料	3,939
郵便振替手数料	1,167
証紙発売手数料	537
口座振込組戻手数料	231
銀行派出所業務委託料	2,105
源泉徴収事務システム保守委託料	214

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	□サービス部門 会計-01 会計事務 ■支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	291 出納、審査事務					
主管課 分野名	会計課	関連課					
目標 (目標値)	審査・出納事務の適正かつ効率的な執行 適正率 100%						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	9,941千円	16,900千円	15,774千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	9,941千円	16,900千円	15,774千円			
	人員配置数	8.0人	8.0人	8.0人			
	人 件 費	72,628千円	72,680千円	74,354千円			
協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	82,569千円	89,580千円	90,128千円			
	市民1人当 りの経費	468円	509円	515円			
	対象者1人 当りの経費	468円	509円	515円			
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
審査・出納事務の適正な 執行管理	◎	目標値	100%	100%	100%	100%	
		実績値	100%	100%			
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
対象者1人当たりのコスト (再任用等含む)	◎	目標値	509円	509円	509円	509円	
		実績値	534円	493円			
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
職員給与の口座振込率	○	目標値	100%	100%	100%	100%	
		実績値	99%	99%			
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
審査・出納に係る課内研 修の実施	△	目標値	6回	6回	6回	6回	
		実績値	4回	3回			
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)三浦藤沢信用金庫の収納代理金融機関への指定要望 (2)市民サービス及び収納率向上を目的とした公金納付環境の整備 (3)指定金融機関からの公金の口座振込等手数料有料化に関する要望 (4)統合的文書管理システムの一環としての財務会計システムの構築(電子決裁や情報公開システムに財務会計システムを連動させるための新システムの検討)
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)市民の納付窓口の拡大及び納税者等の利便性を向上させるため、三浦藤沢信用金庫を収納代理金融機関に追加指定した。 (2)コンビニでの公金納付環境の整備に向けた事業が第3次総合計画 第2期基本計画 中期実施計画に採択された。今後、関連各課と連携し、25年度からのシステム運用に向けた検討を重ねていくこととなる。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (3)指定金融機関からの公金の口座振込等手数料の有料化に関する要望が継続的に行われているが、本市における財政事情や他市の対応状況から実現は厳しい。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (3)指定金融機関からの公金の口座振込等手数料の有料化については、今後他市の対応状況等を把握していく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 無
	行政事務を執行する上で基本となる会計事務については、常に正確性が求められている。そのような中で、担当業務を随時交替し、業務全体に対する事務処理に関する知識の共有及び能力の向上を図るなどの取り組みは評価に値すると考える。今後とも迅速かつ適正な執行に努めるとともに、今後の課題であるコンビニ公金収納や財務会計システムの構築についても関連各課と連携し、対応していく。		
		三ツ堀 弘	

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止		改善の必要性
担当部名	経営企画部	部長名	